

大学院修了後の
キャリアパス—教員として
採用されます

大学院修了後は医学部の常勤助教（A コース）・特任助教（B コース）として採用されます。

A コース

助教在職のまま海外留学が可能となる予定です。大学院修了 5～7 年後に准教授昇進の審査を受けられます。

B コース

基礎研究医養成プログラムのチューターを担当しつつ研究を継続し、優れた業績が認められれば常勤助教として採用されます。

大学院修了後貸与期間と同年数以上本学で基礎研究医として勤務すれば、奨学金の返済が免除されます。B コースでは、他の機関で橋渡し研究に従事した場合、臨床・研究の経験を生かして官公庁等で医療行政に関わる業務に従事した場合も奨学金返済免除の対象となります。

教育・支援体制

- センチュリータワー 7 階にプログラム参加学生専用スペースを開設。
- 基礎研究医養成プログラム室の教員と専任のチューター（2 名）がきめ細かな指導を行います。
- キャリア支援相談室の担当者が、皆さんのニーズに柔軟に対応します。
- できるだけ M1 から参加し研究を実施した方が有利ですが、途中からの参加や研究開始後の所属教室の変更も可能です。また、条件が満たされれば、A コース・B コース間の移行も可能です。

問合せ先

本プログラムに興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

さくらキャンパス

相談窓口 ————— 事務部 教務課 (0476-98-1001、内線 215)

本郷・お茶の水キャンパス

内容について ————— 基礎研究医養成プログラム室 (内線 3486)
具体的な相談について ————— キャリア支援相談室
手続き・その他について ————— 医学部事務室 (03-3813-3111、内線 3221)



基礎研究医養成プログラム専用スペース

本郷・お茶の水キャンパス センチュリータワー南 7 階 S703

最新情報はこちらから

<http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui>

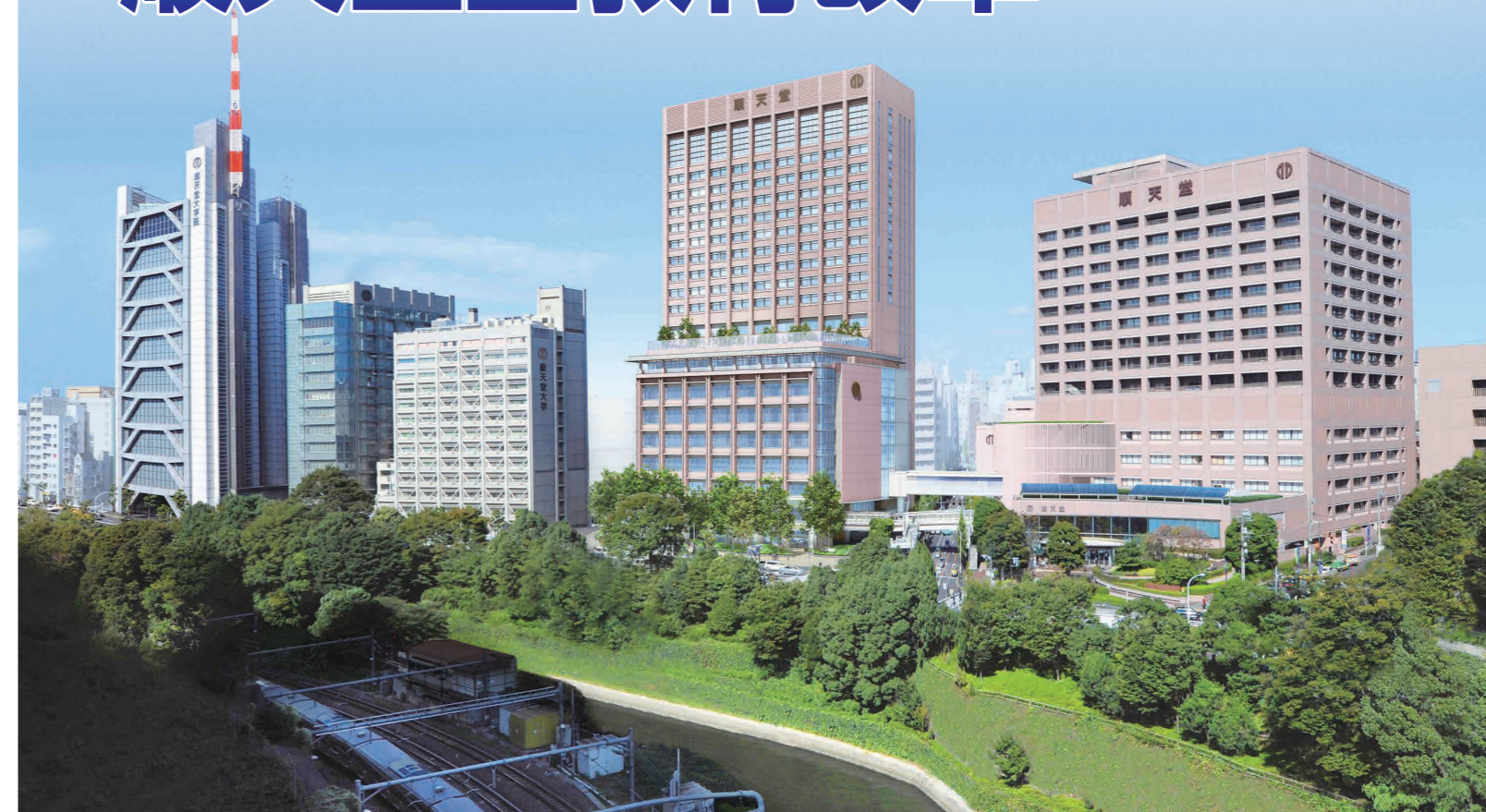
お問合せはこちらから

e-mail : kenkyui@juntendo.ac.jp

患者さんに役立つ研究をしませんか！

基礎研究医養成のための 順天堂型教育改革

研究により多くの患者さんを救いたい！と考えているあなたへ。



基礎研究医養成プログラムの紹介

- 医学部と大学院をシームレスにつなぐ特別コースを設け、医学研究のエリートを育成します。
- 研究により多くの患者さんを救いたいと考えている皆さんの積極的な参加を待っています。

プログラムの概要

これまで順天堂大学では次世代の基礎研究医養成を奨学金、基礎系大学院修了後の助教採用制度により支援してきました。加えて本プログラムでは、医学部～大学院をシームレスにつなぐ特別コースを設置します。研究へのモチベーション向上教育を医学部1年次から開始し、ラボローテーション・配属の後、医学部在籍中に10単位の大学院単位取得、研究、論文執筆を行います。

大学院では、生じた時間的余裕を利用し、海外留学により国際的に活躍する基礎医学研究者を育成する A コース、大学院と初期臨床研修を同時並行し、臨床経験を生かして最先端の基礎臨床融合研究を行い、成果を臨床応用するための研究（橋渡し研究）を推進する研究医を養成する B コースに分かれます。本学の伝統に培われた屋根瓦方式に基づく ICT 導入少人数グループ学習、国内外協定機関のネットワークの利用、大学院修了後の助教採用・昇進制度等の柔軟な人事によりキャリア形成の促進を図ります。

患者さんに役立つ研究をしませんか！ ～基礎研究医養成プログラムの紹介～

平成24年度 文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業 (A) 医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成 に、本学の「基礎研究医養成のための順天堂型教育改革」が採択されました。これにより、医学部と大学院をシームレスにつなぐ特別コースを設け、医学研究のエリートを育成します。研究により多くの患者さんを救いたいと考えている皆さんの積極的な参加を待っています。

学部→大学院をシームレスにつなぐ3ステップのプログラム

本学では文部科学省の助成により、世界をリードする基礎臨床融合研究拠点として、アトピー疾患研究センター、感染制御科学研究センター、老人性疾患病態・治療研究センター、スポーツロジセンター、先導的がん医療開発研究センター等が設立されています。各研究センターには基礎・臨床の教室が参加し、基礎臨床融合研究の環境が整備されています。このような本学の長を生かして、国際的研究レベルを持つ基礎医学研究者の育成 (Aコース) と臨床への橋渡し研究を推進する研究医の養成 (Bコース) に分けてプログラムを構築しています。



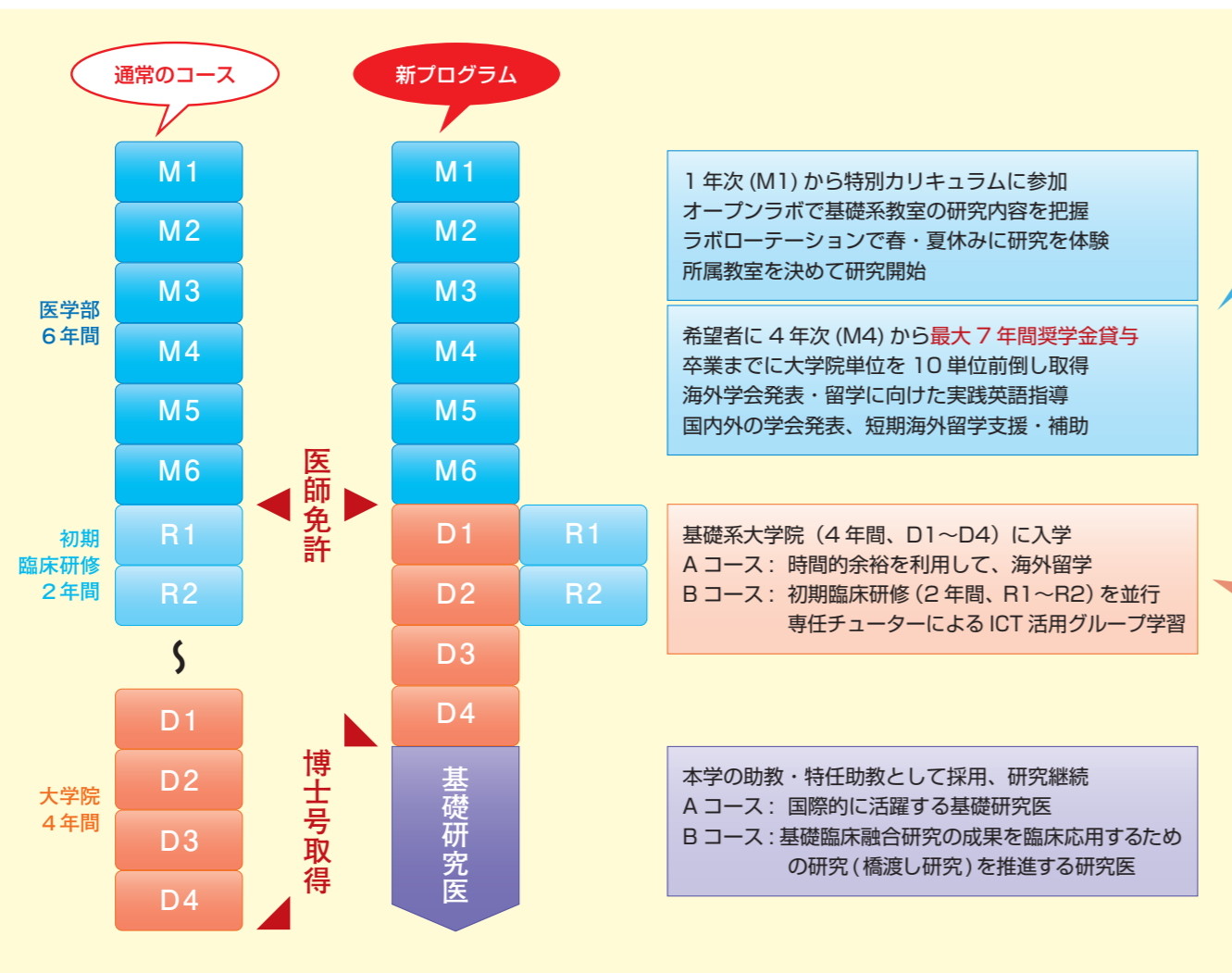
Step 1
医学部 1 年次からモチベーション・スキル向上の教育を始め、興味のある複数の教室で研究を体験するラボローテーションを経て所属教室を決定します。



Step 2
研究を開始し、大学院コース受講により学部在籍中に大学院単位を取得します。希望をもとに適性評価を行い、キャリア支援相談室との相談により、2コースから1つを選択します。



Step 3
基礎系大学院に入学し国際的に活躍する基礎医学研究者を育成する **Aコース** と、基礎系大学院と初期臨床研修を並行する **Bコース** に分かれます。修了後の助教採用・奨学金返済免除制度に加え、留学・昇進制度などを導入しキャリア支援の強化を図ります。柔軟な人事により、キャリア形成を支援します。



医学部時代に何ができるか

- 1 年次 (M1) から特別カリキュラム、国内外の著名研究者によるセミナー等に参加できます。
- オープンラボに参加して選択した複数のラボで研究を体験 (ラボローテーション) し、自分に合ったラボを選んで研究を開始できます。
- 研究医 Basic Course で研究の基本的知識・考え方、技術を習得できます。
- 希望者に 4 年次 (M4) から大学院 4 年次 (D4) まで最大7年間、月10万円の奨学金が貸与されます※。
- 海外学会発表・留学のための実践的な英語を身につけられます。
- 研究成果の学会発表、論文執筆のための個別指導を受けられます。
- 国内外の学会発表、短期海外留学のためのサポート・旅費の補助が受けられます。
- 卒業までに大学院単位 10 単位を取得できます。

大学院では何ができるか

以下の2つのコースのどちらかを選択し、医学部卒業後直ちに基礎系大学院に入学します。

Aコース
大学院単位の取得で生じた時間的余裕を利用して海外留学し、国際的に活躍する研究者を目指すことができます。帰国後、研究を進めるとともに、教育経験を積むために大学院在学中にティーチングアシスタントとして採用され、経済的サポートを受けられます。

Bコース
初期臨床研修 (順天堂医院、2年間) を並行して行うことができます。臨床経験を生かして最先端の基礎臨床融合研究を行い、成果を臨床応用するための研究 (橋渡し研究) を推進する研究医を目指すことができます。研修2年目は、研究テーマ関連分野について重点的に臨床経験を積むプログラムです。研修中も少人数グループ学習に参加して研究準備を行い、研修修了後はリサーチアシスタントとして経済的サポートを受けつつ研究を行うことができます。

※初期臨床研修中、奨学金貸与は停止されます。また、リサーチアシスタントなど他の経済的サポートと重複して受けられない場合があります。